

今回のJSAF留学コラムからは、卒業目的でアメリカの大学へ進学した派遣生からのメッセージを2回にわたりお届けします。近年グローバル化が加速するにつれ、高校卒業後の進学先として、日本の有名大学だけでなく、全世界の大学から選択するケースが増えています。特にアメリカは世界の中で最も教育の質が高いと言われる人気の国ですが、その分入学後には、優秀なアメリカ人学生や各国からの留学生と対等に渡り合っていく高い資質・能力が求められます。2008年に日本の高校を卒業後、同年秋からメリーランド大学カレッジパークへ進学した笹倉さんは、大学での1学期目を好成績で終え、勉学・プライベートともに有意義な留学生活を送っています。留学先大学、勉強、クラブ活動、英語力、後輩へのメッセージについて、具体的に等身大、とてもイメージの沸くレポートを書いてもらいました。アメリカへの大学進学を検討している方、必見のコラムです。それでは、留学コラム大学進学編スタートです。

アメリカ大学への進学【1】

プロフィール

笹倉 博さんについて

2008年3月郁文館高校卒業

平均成績GPA 3.9/4.0

TOEFLスコア 597点

SATスコア 1840点



大学

メリーランド大学カレッジパークについて

州立大学で全米で18位特にエコノミクスの学部は定評があります。数々のノーベル賞受賞者が教授陣として名前を連ねている大学としても有名です。



写真



JSAF卒業目的有名大学進学プログラムについて

JSAFプログラムは、高校在籍中からアメリカ進学を目的にした学生の希望専攻分野、GPA、TOEFL、SATスコアをもとに大学進学の専門家によるプレイズメントをおこなっています。選定結果は2~3校ランキング順に、各種違った特色をもとに紹介いたします。プログラムとしては少数精鋭ですが、着実に派遣学生はアメリカで結果を残しています。

現在まで、レッドランズ大学、コロラド州立大学、モンタナ州立大学、エバンスビル大学、シラキュース大学、アリゾナ大学、ミシガン州立大学、パデュー大学、メリーランド大学などJSAF派遣学生の軌跡です。

笹倉博さん(8期生)University of Maryland College Park

Q:留学先の大学について紹介して下さい。どのような雰囲気の大学ですか?大学まわり、キャンパス内の環境、治安はどうですか?ブックセンター、ライティングセンター、シアター等施設は充実していますか、またどの施設・設備をよく利用していますか?

メリーランド大学カレッジパーク校はメリーランド州立大学の中心校で、非常に大きい面積のキャンパスを持っています。地理的には坂の上にあるので、キャンパスを歩いていると上り坂や下り坂が結構あります。総合大学なので、ほぼすべての分野の研究室と教室があります。キャンパスが大きいのでシャトルバスがいっぱい走っています。オンラインで授業を取る時に、もし取っている授業の教室間の距離が長い場合には、コンピューターが「10分じゃ着きませんよ」などと教えてくれます。

僕の基準ですが、現地学生に関しては、まあまあ頭のいい人もいますが、あまり冴えていない人も結構います。しかし、ここの大学にいる留学生はみんな素晴らしいです。僕の知っている留学生で成績Cを取るような人はいません。学生の雰囲気はみんな和やかな感じです。僕はまだそんなに授業を取っていませんが、今までとってきた授業で大体何人かずつ友達を作りました。

学校は郊外にありますので、買い物でしたければ、地下鉄に乗ってワシントンDCにいかなければいけません。普段の食べ物や雑貨は学校近くのスーパーで買うことができます。また、食堂に飽きたらキャンパス近くのレストランで食事ができます。日本レストランは3軒ほど。キャンパス内に食堂は2つ、フードコート1つ、コンビニ3つ、と不便ではありません。キャンパス内の施設は本当に充実しています。

大きいブックセンターが1つと、ブックストアが2つ。アメリカの教科書は高いので、みんな中古のものを買います。ライティングセンターもあります。僕は先学期に2回ほど利用しましたが、結構助けになります。シアター、ボーリング、ビリヤード、ゲームセンター、大きいジム、プール、バスケットコート、アメフトスタジアム、野球場、サッカーフィールドと何でもあります。僕は、毎週ジムに行きます。そこで2時間近く全身を鍛えます。バスケットコートも頻繁に使います。ビタミンも必要ですから、学校のコンビニで100%の果物ジュースを買います。あとビリヤードや本の売り買いでブックセンターも結構使います。ヘルスセンターのお世話にはまだなっただけがありません。これからもそうしたいです。

Q:留学先での専攻と、現在までに履修した/している授業(科目名)をお書き下さい。出ているものは、成績も記入して下さい。

先学期履修したもの
Economics 200 (A)
Math calculus 140 (A)
English writing 101 (B)
University 101 (A+)
Economics 201 (B+)

履修中のもの
Economics 300
Math calculus 141
Asian American study 200
Astronomy 100
The impact of music on life 210



Q:今までに履修した科目のうち、最も面白かった・勉強になった、または努力した科目についてお書き下さい。具体的な授業の内容と、成果・努力した点、助けられたことなどのようなことでしたか? 勉強や課題・テスト対策のため工夫したことはありましたか。

Economicsが面白かったです。僕は、去年の秋にマイクロ(マイクロ経済)、今年の冬にマクロ(マクロ経済)を取りました。そこで経済に関する基礎の知識と概念を身につけて、今現地経済のニュースやヤフーの経済ニュースを見ると、何がどうなってるのかがとてもよくわかります。苦労したのはEnglish writingの授業です。今までのTOEFLやSATのwritingと違って、1学期を通して、作文を4つ書きます。一つ目は自分のトピックに関する自分の経験。二つ目は、自分のトピックに関する自分の経験と自分の論点に賛同する意見を調べて、まとめる。三つ目は自分の論点に反する考え方について書きます。そして、最後の作文は最低12ページの1, 2と3をまとめて、それでさらに深く書いていくバージョンです。この授業で結構苦労したのは、作文を書く前に自分のトピックに関する本をある程度読まないと書けないという点です。よって、他の科目のように期限の一週間前から準備しても間に合いません。Economics とMath は本を読んで、問題をこなして、あと単語の意味と定義を覚えれば、テストで大丈夫でした。

Q:留学を志望した理由・目的を教えてください。また、その目的に対して今までの留学生活を振り返ってどう感じますか。

将来、経済関係で仕事をしたいから、経済力のつよい? アメリカに留学したいと思ったのは中学3年の時でした。アメリカだと経済の知識と同時に不可欠の英語も身につけられるから、僕にぴったりです。今までの生活を振り返ってみると、僕は自分の夢に向かってちゃんとやっています。授業もサボったことがないし、しっかりやっているといえます。

Q:交友関係についてお書き下さい。一番仲の良い友達はだれですか? 交友関係はどのように広がっていますか。

交友関係に関して、僕は大丈夫です。今まで友達をたくさん作りました。同じ寮の人、同じクラスの人、同じクラブの人、同じパーティーに行く人と、いっぱい友達ができました。一番仲の良い友達は広島大学から来た交換留学生の人で、その人と同じ英語の授業で知り会いましたが、いろいろなことの相談に乗ってもらっています。

Q:課外活動について 参加しているクラブ活動、アクティビティ、ボランティア活動、アルバイトなどがありましたら、内容をご記入ください。また、その活動を通して得た成果や感想を教えてください。

僕は今、JASA、Japanese American students association という学生組織の書記をやっています。フレッシュマンでしかも留学生が学生組織でポジションをもらえるのは珍しいみたいです。この組織のやることは、他の大学の日本語メジャーの学生といろいろ交流を図る活動をしています。おにぎりを作って売ったり、春のDCの花見にいったりと、結構忙しいです。会長がなんと白人の女の子で、みんな英語でペラペラとミーティングをやるので、僕も書記だから積極的に参加しています。また、今、図書館でアルバイトをしています。やることはmicro fileという小さいファイルをコンピューターで見ながら、それが本当の本と合っているかどうかをチェックする仕事です。1時間8ドルと悪くありません。あとは最近ほぼ毎週週末にパーティーに行っています。友達ができるから、楽しいです。自分で一番激しかったと思うのは、去年の秋学期の期末の二日前にもパーティーに行ったことです。

Q:アメリカ人やアメリカという国に対して、新たに気づかされたことやイメージが変わったことなど。

アメリカに行く前に結構アメリカの女の子はかわいい(笑)と思っていましたが、実際はそれほど多くないと思いました。特に1年生の女の子は本当にうるさくて、全然レディーの雰囲気がありません。あとアメリカは車がないと不便な国ということと、おいしい料理が少ない国だと思いました。ここでのカラオケは本当に高く、三時間で5人で歌ったら、20ドル以上もしました。あとゲームセンターや遊園地もそんなにありません、デートの場所選びに困りそうな感じです。ほかは大丈夫です。自由の国だと思えます。

Q:英語力について、苦労を感じたことはありませんか。

今は苦労を何も感じません。普通に授業に出て、ディスカッションに参加していますから、英語面での苦労はもう感じなくなりました。以前TOEFLをクリアするために力を注いだのは、単語です。僕は単語が今以上にわかれば、スコアがぐっと上がると思います。あとはもう英語を好きになることです。洋楽を聴いたり、映画、海外ドラマと、ありとあらゆるメディアに触れることです。

Q:JSAFが実施した事前英語研修を振り返って、出発準備・心構えとして研修は役に立ったと思いますか?

教授のオフィスアワーを活用することです。僕は質問があったら、すぐにTAや教授のオフィスアワーに質問にかけたので、TAや教授との関係を深めることができたし、向こうもこちらに適切な指導を施すことができたと感じます。

後輩へのメッセージ!

留学する強い意志と覚悟があるなら、もう何も心配する必要がありません。アメリカの大学生活は有意義で楽しいですよ